



TAC管理会計論-テキストチェックゼミ(安達)

第5回 総合原価計算
2023年1月18日(木)19:00～

総合原価計算について

23年目標テキスト P 103～ P 163

「原価計算基準」21～29

総合原価計算について

Q.
総合原価計算における，以下の事項について説明してください。

- ・ 生産形態
- ・ 製造指図書
- ・ 原価集計単位

総合原価計算について

Q.

【復習】

個別原価計算における，以下の事項について説明してください。

- ・ 生産形態
- ・ 製造指図書
- ・ 原価集計単位

Q.
総合原価計算は、
原価計算における第何段階に位置していますか。
また、それを何と呼びますか。
また、勘定科目でいうと、どの勘定科目での扱いになりますか？

Q.

仕掛品の加工進捗度は何を表しますか。

Q.

後輩から下記のように質問を受けたら、あなたならどのように答えますか？

「なんで、総合原価計算では進捗度とか考慮しないといけないの？個別原価計算ではなかったのに。」

Q.

平均法や先入先出法はどういったときに必要になる
計算方法ですか。

Q.

平均法の長所・短所を端的に説明してください。

Q.

先入先出法の長所・短所を端的に説明してください。

Q.
実際総合原価計算の原価管理はどのように行いますか。

Q.

原価管理における問題点が、
平均法→修正先入先出法→純粹先入先出法の順で
どのように改善されていくのか説明してください。

Q.

追加材料の投入をする際、生産量が増加する場合と増加しない場合がありますが、どのように判断しますか。

また、生産量が増加する場合に計算上、こういった点に注意して計算問題を解いていますか？

Q.

総合原価計算と個別原価計算では仕損・減損の処理が大きく違います。その理由にはどういったものが考えられるでしょうか。

Q.

仕損、減損それぞれの意義と、両者の共通点と相違点を説明してください。

Q.
下記の状態の時，正確な製品原価の計算の観点から，
仕損の負担先と負担割合のあるべき処理を教えてください。

①正常仕損が工程の特定点で発生

①－ i 期末仕掛品の加工進捗度 < 正常仕損の発生点

①－ ii 正常仕損の発生点 $\leq$ 期末仕掛品の加工進捗度

②仕損が工程を通じて平均的に発生

Q.

度外視法を採用しており、

正常仕損発生点＝期末仕掛品加工進捗度である場合、
正常仕損費の負担先はどこになりますか？

Q.

正常仕損費の処理に非度外視法を採用すると、製品原価の計算上どのような利点があるか説明してください。

Q.
正常仕損費の処理に非度外視法を採用すると、
原価管理上どのような利点があるか説明してください。

Q.

計算の経済性が確保できるのは非度外視法と度外視法のどちらですか。理由を含めて説明してください。

Q.

度外視法と非度外視法どちらを使うべきか指示がなかったとします。

このとき、仕損が始点発生だったとしたら、どちらの計算方法をあなたは選びますか。

Q.

度外視法と非度外視法で計算結果が異なるのはどの
場合ですか。また、それぞれどのように異なるのか
説明してください。

Q.

非度外視法，度外視法の計算に関連して，
あなたが後輩に対してアドバイスをするなら，
どのようなことを気を付けるように伝えますか？
(ざっくばらんになんでもOKです。)

Q.

減損率が安定している場合のみ、特殊な処理をする理由を教えてください。

Q.

異常仕損の発生点 = 正常仕損の発生点の場合、
正常仕損費を異常仕損品に負担させますか。
それはなぜですか。

Q.

期末仕掛品の加工進捗度 = 正常仕損の発生点の場合、
正常仕損費を期末仕掛品に負担させますか。

それはなぜですか。

(前の問題と比較して答えてください)

Q.

正常仕損費を異常仕損品に負担させるか否かについてどのような議論がありますか？

Q.

全原価要素工程別総合原価計算とは何ですか。

Q.

加工費工程別総合原価計算（加工費法）が適用される場面を説明してください。

（基準26）

Q.

累加法で実際原価による振替を行っている場合、
原価管理上どういった点が問題となりますか？

Q.
累加法を採用している場合、
原価振替に関する論点が2つあります。何ですか。

Q.

非累加法の利点を累加法の欠点を踏まえて 2 つ説明してください。

Q.

論文管理では、だいたいストーリーが作られていることが多いです。

では、工程別総合原価計算が論文で出題される場合、原価管理について問われるとしたら、どのようなストーリーが想定されるか考えてみましょう。

Q.

組別総合原価計算の適用する生産形態は何ですか。

Q.

組別総合原価計算の第一段階、第二段階はそれぞれ何の計算に準じていますか。

Q.

組別総合原価計算の第一段階において、
一期間の製造費用を組直接費と組間接費に分けた場合、
組直接費とされた直接労務費は
第二段階においてどう扱われますか。

Q.
等価係数とは何ですか。

Q.

等級別総合原価計算は、組別総合原価計算と比べて原価計算にかかる手数を合理的に省略することができるといわれます。この点について説明してください。

Q.
インプット法とアウトプット法について説明してください。

Q.

等級別総合原価計算で使用するアウトプット基準の等価係数について説明してください。

Q.

等級別総合原価計算で使用するインプット基準の等価係数について説明してください。

Q.

第2法と第3法の計算方法を「積数」という言葉を使って説明してください。

Q.
連産品とは何ですか。

Q.

連産品の結合原価の按分が必要になる場面と、なぜ必要なのか説明してください。

Q.
市価法と物量法の按分基準及び特徴を説明してください。

(論文過去問)

Q.

NRV法や、修正NRV法が使われる状況は、
どのような状況ですか？

Q.

なぜ、修正NRV法が用意されているのですか？

Q.

NRV法と修正NRV法の計算に関して気を付ける必要があるのはどのような点でしょうか？

（自分が解くときに気を付けているポイントみたいなものを説明してみてください。）

Q.
等級製品と連産品の共通点と相違点を説明してください。

Q.

価値移転的原価計算と価値回収的原価計算について、それぞれ説明してください。

Q.
副産物とは何ですか。

Q.

副産物の原則処理と容認処理を説明してください。
(基準28)

Q.

連産品と副産物が結合生産された場合、連結原価は、副産物の評価額を引いた後ですか、それとも引く前の原価のことをいいますか？

Q.

「原価計算基準」では、軽微な場合に限って副産物の売却収入を収益とすることを認めています。このような処理が認められるものが他にも認められています。

2つ挙げてください。

(令和2年論文式試験)